



自動注文 システム

# いつもの一杯が酪農の未来につながる

From 岡山県 勝央・奈義町

8月に組合員さんより募集した「生産者さんへメッセージ」をお渡してきました。



2023年11月9日(木)生協牛乳の産地研修 岡山県勝央・奈義町おかやま酪農業協同組合

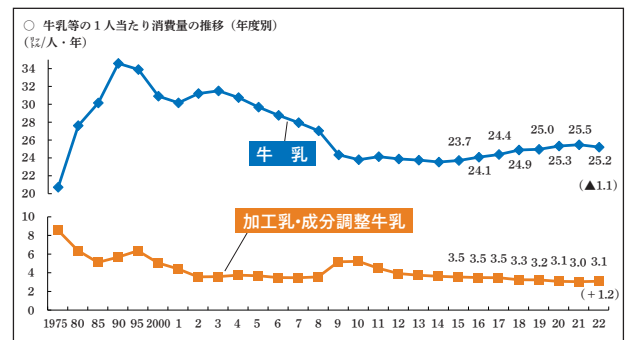
私たちが飲んでいる牛乳の産地では、今もなお深刻な状況が続いています。牛乳の需要低迷、ロシア・ウクライナ情勢による世界的な穀物価格の高騰、円安の影響などにより輸入飼料が値上がり、加えて牛舎の光熱費、輸送コストなど酪農家の経営を圧迫しています。

健康な乳牛を育てるために大切なトウモロコシなどの穀物が主体の配合飼料が、20年程前に比べて約2倍。一般的な飼料の割合は配合飼料が約3割と言われていますが、大半が輸入に頼っているため、世界的な穀物の価格高騰が大きく影響しています。輸入だけに頼らず自家栽培している酪農家も多くありますが、全てを賄うのは難しいのが現状です。

また、いま直面しているのは飼料の価格高騰だけではありません。物流の2024年問題をご存知の方も多いのではないでしょうか。牧場から組合員のみなさんの元までに、たくさんの人によってお届けされていますが、業界のドライバー不足により輸送コストが上昇すると言われています。

そして、残念ながら国民一人当たりの年間牛乳消費量は1990年代をピークに下がり続け、この近年は横ばい、また酪農家も高齢化を伴い継続が難しくどんどん減っているのが現状です。

一人当たりの年間牛乳等消費量



出典「最近の牛乳乳製品をめぐる情報について」(農林水産省)を加工して作成



## 引き継がれて38年若い世代につながっています

生協牛乳に使用している生乳は、岡山県北東部に位置する勝田郡奈義町、勝央町の2つの町で、15戸の生産者さんに限定して生産、短時間で集乳できてバック工場まで送ることができる、とても鮮度が高い生乳です。

遺伝子組換 分別管理飼料

エサの3割を占めるとうもろこしは、遺伝子組換分別管理飼料を使用しています。



私たちが 生協牛乳を 毎日搾っています!



左から 布上さん・守さん・山本さん

## 岡山県「生協牛乳」の生産者さんからメッセージをいただきました

酪農家になって9年目になりますが、毎日牛たちがなるべくストレスがかからないように、「この子、ニコ痛がっているな」「この子あんまりエサ食べていないな」「真夏の時期、つかれてないかな」とちょっとした変化を見逃さないように、牛の体調管理を行っています。牛たちに与えるとうもろこしの飼料がどんどん値上げしていますが、こだわりの飼料で牛たちを育てています。牛たちが頑張ってくれたお乳があって私たち酪農家から組合・バック工場、そして、生協の配送担当者さんから組合員さんの元へ、たくさんの人と人とのつながりがあることに感謝しています。私たちもこれから頑張っていくので、たくさん飲んでください。よろしくお願いします。

酪農家 山本さんより(右)

日本の酪農家を守るために 私たちができること

生産者さんへメッセージを届けてみませんか

いつも利用している (商品名) の生産者さんへ

こちらからでも お送り いただけます



カードに記載された個人情報、商品の企画や紙面掲載とのお知らせの目的にのみ使用いたします。

自動注文 システム

自動注文のご利用が、未来の世代まで牛乳を作っていけることに繋がります。みんなで日本の酪農を応援しましょう!